

## Topics !

# 水面下で進むカジカの置き換わり



小さな軟条もすべて数える  
…この個体の胸びれ条数は 13 条



カジカの仲間は流れの速い溪流に生息する底生魚で、硬い胸びれは水底にへばりつくための碇の役割を、大きな胸びれは体を水流を受けて水底に押しつけるスポイラーの役割をはたす。

胸びれ条数はカジカの種類によって異なっており、重要な分類の基準となっている。

**カジカ大卵型** (大きな卵を生む)  
一生を川で過ごす純淡水魚



この個体の胸びれ条数は 16 条



**カジカ中卵型** (中型の卵を生む)  
川で生まれてすぐに海に下り、川に戻って成長する回遊魚  
(アユと同じような生活史)  
北海道から九州までの日本海側の河川にひろく分布する

近年、別種の回遊型カジカが、秋田・新潟・石川県から発見される



中卵型より胸びれ条数がやや多いが、区別が困難。放流魚に紛れて入りこんだもので、急速に中卵型と置き換わっているものと思われる。

### カジカ小卵型

■ 移入分布域  
■ 自然分布域

元々、太平洋側に分布していたものが日本海側に侵入

